

結果

- ・ 2007年に関東地方を中心にはしかが流行したこと、はしかのために休校になった学校があったことを約5人に1人が知らなかった。
- ・ はしかのワクチン接種後には発熱や発しんが1-2割に認められることを知っていたのは、27%であった。
- ・ はしかは高熱が出て、全身に発しんが広がり、入院する者が40%程度いることを知っていたのは、23%であった。
- ・ はしかはかかると特別な治療法がなく、予防が重要な病気であることを知っていたのは、37%であった。
- ・ はしかはかかると1000人に1人が死亡したり脳炎になることがあるのを知っていたのは、11%であった。
- ・ はしか脳炎はかかると死亡したり、治っても重度の後遺症が残ることが多いことを知っていたのは5%であった。
- ・ ワクチンは1回で80-90%、2回受ければほぼ全員がかからずにすむことを知っていたのは、23%であった。

結果

- ・ アメリカでは学校入学時に2回の予防接種歴が求められることを知っていたのは7%であった。
- ・ 2008年4月から高校3年生は公費負担で、麻しん風しんの予防接種を受けることになったのを知っていたのは7月時点で42%であった。
- ・ 周りに未接種未罹患の人がいたら、予防接種を勧めてあげますかの質問には75%が勧めると答えた一方で、9%は勧めないと回答した。
- ・ 医療機関では、有料で、はしかに対する免疫の有無を調べることができるのを知っていたのは、10%であった。
- ・ 1回接種者に2回目の接種を勧めると回答したのは42%、免疫の有無を調べて免疫がなかったら2回目を勧めると回答したのは18%であった。勧めないと回答したのは、8%であった。残りはどちらでもよい、わからないあるいは未記入であった。